

## 期待

2010.09.02

8月29日、友人、学校の仲間、両親、家族とはなれて北京に来ました。私の留學生活の始まりです。家族やみんなと別れ、故郷を遠く離れましたが、これからの日本での生活への期待で、つらくはありません。はなれることは別離や悲しいことではなく、成長の表れなのです。 8月31日昼ごろ、成田空港に到着しました。日本は私が想像していたようにさわやかな気候ではなく、暑くて大変でした。天気は人の意のままにはなりません、それでも感激しました。日中交流基金の先生方はとても親切で、一人一人に良くしてください、家に帰ったようです。ここで、中国全土から集まった同世代のたくさんの仲間と知りあいました。私たちは家族のように、一緒に生活をしています。思いがけないことばかりでもいいんです。これこそが良いスタートです。

### 楽しく過ごして

2010.09.27

いつの間にか日本に来てもう1か月がたちました。ここでの生活にもすっかり慣れて、友達もたくさんできました。日本生活の1か月目はとても充実していました。留学生の活動の参加したり、学校の先生にもいろいろ助けをいただいて、来月の文化祭で中国のお店を出す準備をしています。中国の凧や、チャイナドレス、太極拳、お茶などの展示を行います。毎日忙しいですが、とても楽しいです。私はここが大好きです。

### 3ヶ月

2010.11.28

時間がたつのはあっという間、いつの間にか日本に来てもう3か月。みんなが懐かしいな。みんな、元気かな? まず、これまでの活動報告ね 10月2日:手打ちそば体験 10月23日:参観宮沢賢治記念館 10月31日:ボーリング大会 11月12~13:秀光祭 11月27日:Thanksgiving Dayパーティ 特に話したいのはThanksgiving Dayパーティのこと。これは中間試験の後、授業はないんだけど、留学生たちはコレの準備のために、朝早く学校に来ていろいろ準備をしたんだ。私はチョコレートケーキを作ったんだよ(スポンジケーキを作るとき、卵の泡立てが大変だったんだから。もう腕が痛くて。でもみんなおいしいって言ってくれたから、苦労したかいがあったな)。留学生との交流はちょっとたいへんかもしれないけれど、みんなお互いを思いやる気持ちがあつて、すごく感動したよ。言葉の壁はあつても、一緒にいられば楽しいよね。頑張ったおかげで、12月からついに部活を始めることに。楽しみだな。。。この3か月、日本での生活は、充実してとても楽しいものでした。これからもっとがんばるぞ!!! PS:中間研修は1月29日~2月2日だよ。中国のお正月前の大みそかは今年は2月2日。みんなと会えるのを楽しみにしているよ。みんなと大みそかの夜を一緒に過ごせないのはちょっと残念だけどT-T中間研修がもうちょっと伸びればいいのにな。

### 3ヶ月

2010.11.28

日本に来ていつの間にか3か月経っていました。みんなのことが恋しいです。みんな元気になっていますか？ こっちに来てからは、いつも何かしらバタバタと忙しくしています。いろんな活動に参加して、たくさん友達も出来ました。毎日がすごく充実しています。まず参加した活動についてちょっと書いていこうかな。10月2日：手打ちそば体験 10月23日：宮沢賢治記念館 10月31日：ボーリング大会 11月12～13日：秀光祭 11月27日：Thanksgiving Dayパーティ 特にみんなに話したいのがThanksgiving Dayパーティのこと。期末テストが終わってすぐに、留学生のみんなが自分で作った料理を持ってこの活動に参加しました。私はチョコレートケーキを作ったんだよ（）

## 中間研修

2011.02.02

今は、研修最終日の未明。目がさえて眠れないので、起きてこの日記を書くことに。5ヶ月という時間は一人の人間をどれだけ成長させるのか？久しぶりに会った仲間たちは、みんなすごく変わっていた。ビックリするやら嬉しいやら。以前は何もわからない子供だった私たちが、今や自分のことは何でも自分でできる大人になった。苦しみと喜びを経験しながら。みんなと、この5カ月を振り返ると、涙あり、笑いあり、つらいことも、うれしいこともあった。そのすべてが私たちを成長させてくれた。さまざまな経歴を持った私たちは、みんな同じように成長し、学んできた。中間研修はあっという間にすぎてしまう。全然話したりない。もっとたくさん一緒に歌って、伝えたいこともまだまだあるのに。でも時間は限られている。本当に、本当にみんなとは離れたくない。でも自分たちにはやらなくてはいけないことが待っている。大丈夫だよ、また会えるんだから。中間研修の目的は、原点にかえて、はじめのころの気持ちをもう一度確認すること。この目的は達せたんじゃないかな。これからも、もっとがんばって、ここにいられる最後の日まで、日本に来たばかりの頃のように、毎日を充実させて過ごすんだ。きっとできるよ。みんなも一緒に頑張ろう！この日のことをきっと忘れない。一緒に過ごした楽しい時を、みんなで大声で歌ったり、冗談を言い合ったり、テーブルを囲んでジャンケンをしたことを。すべての人たちに感謝を。特に後井先生、丸山先生、諸田先生、こんなに楽しく過ごせた研修を用意してくださって、本当にありがとうございます。

## みんなへ

2011.04.06

いつからか、以前の同級生や友達より、みんなのこのほうがずっと身近に感じられるようになっていた。悩んでいるときは、QQのお友達リストを開いたり、心連心に5期生のみんなに会いに来て、ネットの向こうの仲間に悩みを打ち明けたりしてね。私たち38人が、一緒に日本に留学に来たのも縁だね。みんなと友達になれたのが本当に嬉しくて、みんなのことを誇りに思っているよ。東日本大地震で、多くの仲間が中国に帰ったね。日本での最後の夜、仲の良いコたちに、仙台での体験を話したんだ。みんなの心配してくれている顔を見ていたら、自分は世界一の幸せ者だなんて思ったよ。日本を離れる日、ずっとこの日本での半年間のことを想い出していた。はじめは何もわからなくて、ホストファミリーともどう接していいかわからなかった。それから学校の先生ともうまくコミュニケーションがとれるようになって。それに来たばかりの頃はクラスにも馴染めなかった。はじめは何を話していいかわからなかったけれど、今では週末になると、2,3人で一緒に街に買い物に出たりしていたよ（とはいっても「見るだけ」が多かったケド><）。寮に入ったら、ちょっとさびしかったな。今では中国人留学生のお手伝いもできるし、欧米の留学生たちからは英語も習っていた。そして地震が起きたときは、ここを離れる留学生たちを慰めて、自分はここ仙台にとどまるんだって決心した。そして欧米の留学生たちもここを去るときは悲しくて、すべての留学生たちもここを去ることに。残っていた日本の学生と先生たちも東京に行くことになり、私も日本を離れることに……今は日本を離れなきゃいけないってわかっている。仙台、この大好きで大嫌いな街に、もう二度と戻ってこられないことわかっている……もう中国に戻ったら、みんなにはなかなか会えないよね。みんな違う場所に住み、それぞれの生活があって、直接会うどころか、ネットで話すことも難しいかな。今は、日本に戻るか決める大事な時。みんな自分は戻りたいけれど、家族が放射能のことをとても心配して、そんな危険なところに行かせたくないって思っているって。みんなどんな結論を出そうと、自分が後悔しない答えを出せればいいよね。何人がまた日本に戻ることも、私たち38人はずっと一緒だよ。お互いをずっと忘れずに、永遠にこの半年間、一緒に日本で頑張った日々を忘れない。これからまた日本の大学に行くことになっても、また高校で勉強していく間も、私たちは頑張り続けるんだから。

### 誕生日プレゼント

2011.05.18

今日はすごくうれしいな。センターの先生からの誕生日プレゼントを受け取りました。実は誕生日は、もう過ぎちゃっているけれど、やっぱりうれしいです。こんな贈り物を受け取ると、新たな生活が始まるんだという自覚ができるとともに、自分は一人じゃないんだって、あたたかい気持ちにさせられます。

日本に戻ってきて、後井先生や丸山先生ともたくさん話をしました。勉強のことも、おしゃべりも、先生方は本当に親切です。こんな先生方が大好きです~先生、皆さんと出会えて本当によかったです~

プレゼント、ありがとうございました。残された時間、大事に過ごしますね。しっかり、頑張りますよ!

### 別れ

2011.07.24

昨日、7月23日、私は11か月（正確には9か月）の留学の日々を過ごした日本に別れを告げ、天津に帰ってきた。まるで夢のようで、家に戻ってみても、それが現実だとは思えなかった。

1か月前から別れの瞬間のことを考えていたのに、実際に別れの時がやってくると、辛くて仕方がなかった。

一年間の留学は、私を自立させ、強くさせた。災害が発生しても、慌てることなく対処することができた。一年の経験で、私は怖いものなどないと知った。努力さえすれば、なんだって乗り越えられる。

仙台で地震にあったことはとても悲しいことだが、そのこともあって、京都立命館宇治に来ることができた。もし地震がなかったら、こんなにたくさんの友達を作ることはできなかったし、地震がなかったら、友達と離れていても、心は一つだということを知ることはなかった。

仙台での記憶はあまりはっきりしない。ただ、地震の時に私にかけてくれた、一人ひとりの、一つ一つの言葉をはっきりと覚えている。災難の時に皆と経験した全てのことを、私は永遠に忘れない。

京都ではたくさんの感動をもらった。私が慣れない時に皆私のためにたくさんのことをしてくれた。あなた達は私の一生の友達。皆が送ってくれたメールみたよ。ありがとう。

こうやって振り返ってみると、たくさんの思い出がある。思い出しても思い出しても、思い出しきれない。私はこの全てを一番美しい思い出として心の中に刻もう。永遠に忘れることがないように。